



# プロビジョニング型非アクティビティ タイマー

Data Border Element (DBE) は、メディア ゲートウェイ コントローラ (MGC) が失敗したときに DBE に警告する、専用のプロビジョニング型非アクティビティ タイマーを使用するようになったため、ハイ アベイラビリティが向上しました。

## プロビジョニング型非アクティビティ タイマー サポートの履歴

リリース	変更内容
リリース 3.5.0	このコマンドは Cisco CRS-1 に初めて追加されました。

## 内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- 「[プロビジョニング型非アクティビティ タイマーに関する情報](#)」 (P.455)
- 「[プロビジョニング型非アクティビティ タイマーの設定](#)」 (P.456)
- 「[その他の関連資料](#)」 (P.457)

## プロビジョニング型非アクティビティ タイマーに関する情報

メディア ゲートウェイ (MG) が MGC から、最初の *ServiceChange* (その後のトランザクション) 要求に対する成功の応答を受信すると、DBE 非アクティビティ タイマーがスタート (リセット) します。非アクティビティ タイマー イベントが発生すると、タイマーは要求 ID を 0 に設定した NOTIFY イベントを使用して MGC にそれを報告します。

必要に応じて、DBE 上のプロビジョニング型非アクティビティ タイマーのデフォルト値を上書きし、従来と同様、CLI から MGC をプロビジョニングして、別の長さの非アクティビティ タイマーに登録できます。ただし、MGC 登録を取り消した場合、またはアソシエーションが失敗した場合は、登録した値が自動的に削除され、DBE のプロビジョニング型非アクティビティ タイマー値が再びアクティブになります。

# プロビジョニング型非アクティビティ タイマーの設定

新しいコマンドで、プロビジョニング型非アクティビティ タイマーの期間を定義します。

## 手順の概要

1. `configure`
2. `sbc service-name`
3. `dbe`
4. `vdbe`
5. `h248-inactivity-duration duration`
6. `commit`
7. `exit`

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>configure</code>  例： RP/0/RP0/CPU0:router# <code>configure</code>	コンフィギュレーション モードに入ります。
ステップ2	<code>sbc service-name</code>  例： RP/0/RP0/CPU0:router(config)# <code>sbc mysbc</code>	特定の SBC インスタンスに対応するコンフィギュレーション モードを開始します。  設定するサービスの名前を定義するには、 <code>service-name</code> 引数を使用します。
ステップ3	<code>dbe</code>  例： RP/0/RP0/CPU0:router(config-sbc)# <code>dbe</code>	Data Border Element (DBE) 機能のサブモードを開始します。
ステップ4	<code>vdbe</code>  例： RP/0/RP0/CPU0:router(config-sbc-dbe)# <code>vdbe</code>	<code>vdbe</code> の DBE サブモードを開始し、非アクティビティ タイマーを設定します。
ステップ5	<code>h248-inactivity-duration duration</code>  例： RP/0/RP0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe)# <code>h248-inactivity-duration 3000</code>	イベントが起動するまでに、MGC が非アクティブ状態を続けることのできる期間を設定します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <code>duration</code> 引数では、この時間を 10 の倍数のミリ秒単位で定義します。デフォルトは 0 です。範囲は 0 ~ 655,350 です。</li> </ul> 左側の例では、30 秒 (3000 として設定) というデフォルト タイマーの期間を使用するように、 <code>vDBE</code> を設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ6	<b>commit</b>  例： RP/0/RP0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe-h248-inactivity-duration)# commit	設定変更を保存します。実行コンフィギュレーション ファイルに変更を保存し、コンフィギュレーション セッションを継続するには、 <b>commit</b> コマンドを使用します。
ステップ7	<b>exit</b>  例： RP/0/RP0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe-h248-inactivity-duration)# exit	現在のコンフィギュレーション モードを終了します。

## その他の関連資料

ここでは、プロビジョニング型非アクティビティ タイマーに関する関連資料について説明します。

## 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

## 標準

標準	タイトル
H.248.14	『Inactivity Timer Package』

## MIB

MIB	MIB のリンク
—	Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。 <a href="http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml">http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</a>

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	<a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a>